



# 大井町議会だより 2021.11.1 No.209

## ひ た よ ら ん

第3回定例会	2
令和2年度決算認定 9月2日から14日までの13日間	
第4回臨時会	7
「会議録検索システム」運用開始	8
一般質問 ここが聞きたい(12人)	10
町のこの人あの人	16

ものづくりを通してまちづくりを  
はらだ まさし  
原田 征史 さん



芝生化された園庭で遊ぶ園児（大井幼稚園）

E-mail [gikai@town.oi.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.oi.kanagawa.jp)

URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第3回定例会

令和3年第3回定例会は9月2日から14日の13日間を会期として開催され、決算、条例、補正予算等の審議を行った。また、行財政全般に及ぶ一般質問を12人が行い、町の考えを質した。

決算審査  
ダイジェスト

一般会計の審査において、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行った。本会議では、委員長報告後、討論があり、賛成多数で認定した。

一般会計

歳入全般

経常収支比率87.5%。前年から2.5ポイント低下の要因は、

単位：万円

令和2年度 各会計の決算状況

会 計	歳 入	歳 出	差 引	
一 般 会 計	87億6,012	82億8,880	4億7,132	
国民健康保険特別会計	14億7,952	14億1,863	6,089	
後期高齢者医療特別会計	2億4,999	2億4,654	345	
介護保険特別会計	12億731	11億6,613	4,118	
水道事業計	収益的収支	3億5,959	2億5,169	1億790
	資本的収支	1億1,460	2億5,727	△1億4,267
公共下水道事業計	収益的収支	4億6,435	4億4,412	2,023
	資本的収支	1億2,970	2億6,808	△1億3,838

町税の減額に加え、人件費、扶助費、補助費等が増えたことによる。

不納欠損額が前年比で増えているが減額するための努力は、督促状送付、財産調査、差押えをするなど、徴収の努力をしている。

令和2年度は、町長が初めから予算編成

を、また、第5次総合計画の最終年度であった。町の成長戦略について町長の総括は、

ひとつづくりまちづくりでは、協働推進課の設置や自治会担当職員制度を創設するなど、それなりに推進できた。成長戦略については70%は達成できたと考えている。

実質収支が4億6千万円程あるが、どのように考えているのか。

また、財政調整基金を2億円余取崩したが、今後の考えは、

実質収支は、適正であったと考えている。財政調整基金は、町債などとのバランスを考慮し活用していきたい。

児童コミュニティクラブ保育料が減額となっているが理由は、

コロナ禍の影響で減収となった。

固定資産税の収納率は、

99.7%である。

町税全体では、県下町村で現年分3位である。

町税の不納欠損についての対策は、

調査の過程で3年で執行停止となる。物品の差し押さえ等の実績もある。

分割払い等の手法を検討すべきでは、

令和2年度で67件の分納実績がある。

保育所保育料過年度分の徴収方法は、

連絡を取り合った中で、児童手当と併せて支払いをお願いしている。

法人税割の税率変更による影響は、

900万円減収の影響があったと考える。

法人事業税交付金で約1400万円入っているがこれは何か。

平成28年度の税制改正により神奈川県に納付されたものが基準に算出され、法人税の町の減収に対して支払われたもの。

四季の里祭り実行委員会の補助金について

三世代同居等移住定住促進補助金の状況は、

全体で70件の申請があり、町外からは42件であった。

新米ママのランチサポート

乳児のお子さんとの外出が難しいとされる生後3か月までの第1子を持つお母さんを対象に、実費1万円のランチを無料で提供いたします。

- 対象となる方  
第1子をもつお母さん  
※食物アレルギーをお持ちの方はご利用できません
- 配達期間  
お子さんが生後3か月になるまでの3か月間
- 配達曜日  
月・水  
※祝日、年末年始は配達いたしません
- 申請方法  
子育て健康課に申請  
※申請に必要なもの  
特にありません

産後サポート事業のパンフレット

歳出全般

内訳は、

年間4回のイベントを予定していたが、全て中止となった。WEBで開催できるものを追加した。

産後サポート事業についての人数と周知は、

16名に対して配食を行ない、配食数188食。出生届の際に窓口で周知。

### 第3回 定例会

**問** 人件費が増加しているが労働時間増加はあったのか。

**答** 非常勤職員が会計年度任用職員となり増加した。労働時間の増加はない。

**問** 特別定額給付金の給付状況は。

**答** 給付者は1万7279人。給付率は99.9%であった。

**問** 検定費用補助金の内訳は。

**答** 英検50人(内小学生22人)、漢検22人(内小学生18人)、数検2人(内小学生1人)。

**問** 小規模事業者等緊急支援金の状況は。

**答** 町内682事業者の内299件の申請があった。

**問** 自治会運営費補助金が増額となっているが内容は。

**答** 均等割と世帯割が

あり、世帯割の補助単価を640円引き上げた。

**問** 自治会担当職員制度の派遣実績は。

**答** 総会等が書面会議となり件数は減少した。3自治会から4回要請があった。

**問** ブロック塀等耐震対策緊急促進事業委託で危険か所ほどの程度であったのか。

**答** 調査は、緊急車両の通るところ、通学路などを中心に572か所行った。危険か所は154か所で令和3年度に入り、所有者と思われる方に、ブロック塀等撤去費補助制度の案内を通知した。

**問** 美化運動推進助成金の申請基準は。

**答** 1回1000円、参加人数1人60円、作業時間4時間を超えたら1000円上乗せする。

**問** 丘陵地域の1人当たりの作業内容に差があると思うが見直しは。

**答** 町全体の管理として見ていきたい。追加助成金も検討する。

**問** 地域活動支援補助金の審査委員会の審査件数は。

**答** 対象11件のうち2件のみ審査した。

**問** 自殺対策関連事業費の使途は。

**答** 啓発物品として、アルコール消毒を成人式で配布した。コロナ禍で他の事業は見送った。

**問** 個別の相談会はできたのではないか。

**答** 自殺の要因として生活困窮が多い。県社協が受託しているセンターもあるので繋げていきたい。

**問** 公用車が30台を超えているが安全運転管理者の指定と講習は行

っているか。

**答** 安全運転管理者は総務課長が就いている。日ごろから個々に啓発を行っている。

**問** 手話通訳者の派遣依頼件数は。

**答** 9件の依頼があった。

**問** 電算管理費の執行残が多いが原因は。

**答** 備品購入で入札による差額の執行残を補正していなかった。又、システムについて補助金があったことで執行残が出た。

**問** 障がい者自立支援給付事業費の執行残の理由は。

**答** 年度末の支払いがあり補正ができなかった。

**問** 未病サミット神奈川実行委員会の負担金とは。

**答** 神奈川全体で普及

啓発の実行委員会に対する負担金。

**問** GIGAスクールサポーターの人数は。

**答** 人数は2名であるがタブレット導入後、日によつては3から4名となっている。

**問** 環境パトロール委託料はどこに依頼しているのか。

**答** シルバー人材センターに週1回不法投棄の回収をしてもらっている。

**問** フェイジョア生産・販路拡大等事業補助金の減額理由は。

**答** フェイジョア生産・販路拡大等事業補助金の減額理由は。

**問** フェイジョア商品開発は商工会に委託している。ドライフルーツ等開発を進めたが商品化までは至らず補助金が減った。

**問** 今後の展望は。

**答** 地域の方の協力も得て新たな商品開発を行っていく。

**問** 湘光中グラウンド改修後の保証は。また、今後の課題と対応は。

**答** 保証はない。風が強かった日に外周道路に砂が出ているのは確認している。流出しないようフェンスなども今後検討していく。



新たな商品開発が期待される  
フェイジョア



きれいな床に改修された  
総合体育館アリーナ

**問** 交流体験事業プラットフォームの誘致に向け営業活動を行った。

**答** 中部地方の教育旅行の誘致に向け営業活動を行った。

**問** GIGAスクールでの他教室でのネット環境は整っているか。

**答** 調査して随時進めていく。

**問** 総合体育館の床修繕費は雨漏りが原因だが対応は。

**答** アリーナの雨漏りは解消している。客席については今後検討していく。

**問** 車いすバスケットは今後も使えるのか。

**答** 要望があれば検討する。

**問** 学校トイレ改修の1基当たりの金額は。

**答** 便器と工事費で約50万円。

**問** レバー式の水洗だが感染予防対策になっていない。センサー式にするべきだったのでは。

**答** コスト面を鑑み、センサー式にはできなかった。今後の予定もない。

**問** プレミアム商品券の効果は。

**答** 商工会の独自の計画に、地方創生臨時交付金を上乘せした。小規模事業の店舗に対しても利用率が上がったので、支援事業としては効果があった。

**問** 特定健康診査等事業費の年代別受診把握はしているか。

**答** 年代別把握はしていない。

**問** 受診勧奨の方法は。

**答** はがき等にて受診勧奨をしていく。

**特別会計・企業会計**

**国民健康保険**

**問** 保険税が減額になっている理由は。

**答** 令和元、2年度は減免による引き下げ、コロナ減免による影響である。

**問** 特定健康診査等事業費の年代別受診把握はしているか。

**答** 年代別把握はしていない。

**問** 受診勧奨の方法は。

**答** はがき等にて受診勧奨をしていく。

**問** 督促手数料廃止については。

**答** 今後検討していく。

**後期高齢者医療**

**問** 保険料の収入未済額の状況は。

**答** 令和3年度に滞納繰越分として徴収する予定である。

**問** 一般会計繰出金の488万5000円は。

**答** 令和元年度以前の一般会計繰入金等の精算に伴うものである。今後は毎年精算していく。

**介護保険**

**問** 要介護3〜5の認定者でサービスを利用していない方はいるか。

**答** 現状では、サービスを利用していない方はいない。

**問** 居宅介護サービス等の給付事業費減額については。

**答** 通所サービスの利用控えが影響している。

**問** 1人暮らし高齢者等配食サービスが増えた理由は。

**答** 利用者が3人増え、今年度合計9人となった。

**問** コロナ禍による

「おいしい元気会」の開催は。

**答** 4〜6月は中止、コロナ感染対策し7月より再開した。

**水道事業**

**問** 給水原価が上がった要因は。

**答** 人件費、修繕費等が増えたため。

一般家庭での使用量が増加したため。

**問** 令和2年度の漏水調査は。

**答** 金子地区にて7件対応。

**公共下水道事業**

**問** 大井町下水道管老朽化による対応は。

**答** 50年が耐用年数と考えており、令和4年度より既存の下水道管のストックマネジメントを開始する。

**問** 有収水量が増加した要因は。

**答** コロナの影響によるステイホームのため

**決算審査特別委員会**

令和2年度決算審査にあたっては、本会議の一般会計決算審議において、特別委員会が設置され、企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、9月9日に詳細な審査を行った。



- 委員長 清水 亜樹
- 副委員長 鈴木 磯美
- 委員 田村 俊二
- 委員 田中 正彦
- 委員 岡田 幸二
- 委員 重田 有紀
- 委員 黒岩陣太郎
- 委員 大石 舞

## 令和2年度 一般会計決算 討論

## 町の独自事業を更に充実させる

## 財源があった

反対討論 大石 舞

令和2年度の歳入決算額は87億6012万1101円、歳出決算額は82億8880万3997円である。実質収支額（歳入から歳出・翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額）は、4億6932万5000円。この額は残高として多く、あと2億円ほどは事業に使う余裕があったとする意見が、決算審査特別委員会では出された。

私は町のコロナ支援策において、もつと思いついた事業を展開できたのではと考える。審査では大規模な新型コロナウイルス対策事業費21億3154万円のうち、国と県の補助金等で99%以上を賄うことができたことと確認された。これは町として独自に支出した額は少なかった、ということでもある。

町の独自施策で、非常に評判の良い施策もあった。例えば小規模事業者等の支援は、計算上大井町の中小事業者の44%ほどが申請したという。これは町の支援が町民にいかにも求められていたかを示している。残金に余裕があったのであれば、他町で行われたような水道料金の一時的な値下げや、給食費の数カ月無償化なども可能だったかもしれない。コロナウイルスの影響は、今後も長期的に続く。持続可能な町づくりのため、今決算審査での前進面と課題を捉え、次年度の予算がより良いものになることを期待し、反対討論とする。

## 大井町成長戦略の着実な推進を評価

賛成討論 山崎 真弘

令和2年度の歳入総額87億6012万円、歳出総額は82億8880万4千円であり、歳入歳出差引額は4億7131万7千円から、翌年度へ繰り越すべき財源199万2千円を差し引いた実質収支は4億6932万5千円となった。また、財政指標から見ると、経常収支比率は、87.5%であり、前年から2.5ポイントの悪化となり、新型コロナウイルス感染症により行財政運営は大きな影響を受けたが、財政の健全化判断比率等については、実質公債費比率は前年度より0.8ポイント改善、また将来負担比率についても引き続きマイナスの数値となり、健全な町政運営を行っていることを示しており、十分に評価できるものである。

歳出では、「大井町成長戦略」である「教育・保育環境の充実」においては、湘光中学校グラウンド改修工事等。「産業立地と居住環境の創出」においては、(仮称)大井中央公園の造成工事等、「相和ブランドの創出」においては、一般社団法人神奈川大井の里体験観光協会への自立に向けた支援等、「次世代産業の共創と連携」においては、未病観光コンシェルジュのプロモーション活動等、着実に推進されており、評価できるものである。

今なお、緊急事態宣言を受けて行政運営に支障をきたしているが、今後も新型コロナウイルスと向き合いながら、事業を確実に実施するとともに、今年度から始まった第6次総合計画「つなごう！大井未来計画」を着実に推進することにより、今まで以上に活性化した町づくりが展開されることを期待し、賛成討論とする。

# 「四季の里」指定管理者制度導入へ 「山田総合グラウンド」は利用料金改定

## 条例

大井町農業体験施設条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

\*大井町農業体験施設への指定管理者制度の導入を図るため、所要の改正をするもの。

この議案は、企画経済常任委員会に付託され、9月7日に委員会を開催し、詳細な審査を行なった。その結果賛成全員で「原案どおり可決すべきもの」と決した。

**問** 体験施設の管理は、指定管理者に行わせるものとする。とあるが行わせることができる条例ではないのか。

**答** 指定管理者を導入する規定のため、行わせるものとする条例である。



指定管理者制度が導入される農業体験施設「四季の里」

**問** PRスペースの賃料は町の収入か。

**答** 引き続き町との契約により、町の収入となる。

**問** 町が指定管理者に支払う指定管理料の見込みは。

**答** 人件費が大きく影響するが、町が出す要求水準書に対し指定管理者が出してくる提案により調整する。

**問** 町民に対するメリットは。

**答** 施設の利用率を上げることで町民サービスの向上を図る。

**問** 指定管理者制度を導入するにあたり指定管理者に求めることは。

**答** 現在行っているサービスの更なる充実と新たなニーズに対応することによりサービスの向上を図ってもらいたい。

**問** 四季の里祭りのイベントも指定管理者の業務か。

**答** 町の事業として指定管理者とは連携して行っていく。

大井町山田総合グラウンド条例の一部を改正する条例  
(賛成12・反対1)

\*社会経済の変動及び受益者負担の観点から、施設の利用について適正かつ公平な負担を図るとともに近隣市町との均衡を考慮し、料金の改正をするもの。

**問** 料金を上げる理由として、近隣市町との均衡をとらなければいけない理由とは。

**答** 大井町は近隣市町に比べ利用料金が安かったことと、近年施設整備の充実してきた。

**問** 料金の値上げによりどのくらい増収になるか。

**答** 過去3年間の利用率を換算し65万2072円で、次回の指定管理者の見直しでは管理料を減額する。

**問** 町民という定義の中に秦野市が入っている理由は。

**答** 秦野市・中井町・大井町・松田町で1市3町広域行政推進協議会を組織しているため。

**問** 条例に県西地域広域市町村圏の説明がないが町民に内容が分かるように説明が必要で表記すべき。

**答** ホームページには掲載しているが、今後町民に分かりやすく表記する。

**問** 多目的グラウンドに町民と町民以外の料金設定がないのと値上げしない理由は。

**答** 利用者が足柄上地区管内の少年スポーツ団体であること、令和2年度から料金設定をしたばかりであることから見直しをしない。

補正予算

一般会計(第4号)  
(賛成全員)

容がある。電波調査、無線局の免許申請、役場の親局、中継局の設定費用が含まれている。

である。町単独の予算計上20件分である。

＊歳入では、普通交付税の交付額の決定をはじめとする各種補助金等の決定や令和2年度決算に伴う繰越金の確定額の計上、歳出では、新型コロナウイルススワクチン接種経費や先日の大雨による災害普及に要する経費及び緊急性のある事業経費を計上。

＊プール浄化機点検委託料の減額理由は、

＊新型コロナウイルスス接種体制確保事業費は10月以降の接種にかかわる事業費か。職員超過勤務手当は何名適用か。

＊10月からの接種事業に必要な費用のため補正した。超過勤務手当については6名分である。

人事

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること  
(賛成全員)

＊石井孝典氏は、任期満了となるので、その後任を任命するもの。

小嶋 真希 氏  
(新任 根岸下)

意見書

コロナ禍における厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求め意見書  
(賛成全員)

＊地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を求める意見書を関係機関に提出するもの。

第4回臨時会

補正予算  
一般会計(第3号)

7月20日に開催され、条例3件、路線の認定1件、補正予算1件、契約の締結2件の議案を審議した。全議案とも「賛成全員」で可決した。

路線の認定

大井町道の路線の認定について

＊大井中央土地区画整理事業の換地処分により、道路の移管を受けたことによる新たな町道等を認定するもの。

町道703号線は、いつ頃工事を行うのか。現在、県の事業で、今後JRと工事の協定をする予定。県の事業に沿って進めていく。

＊新型コロナウイルススワクチン接種に係る追加事業費や敬老事業費の予算組み替えなどを計上。

国土強靱化地域計画は、今年度になって策定するよう指示があったのか。

国は策定しており、市町村は努力義務であった。今年度に入り、令和3年度末までに策定完了するよう通達がきた。この計画の策定が令和4年度以降、国庫補助金の交付要件となる。

計画を策定することにより、今後の見通しは。

現在、57の補助事業等で活用できるが、本町でも活用できるものがある。計画を策定しないことによりデメリットが出てくる。



記録的大雨による農地崩壊現場(高尾地内)

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月6日

神奈川県大井町議会

10月より

「会議録検索システム」

運用開始!



議会では、本年10月1日より、「会議録検索システム」を導入しました。本システムを導入することにより、議事録を発言者や言葉などのキーワードから検索できるようになりました。

本会議や付託議案を審査する常任委員会、特別委員会での質疑応答等を簡単に検索、閲覧することができ、本年10月町民の皆様と議会を結ぶ情報のツールとして、多くの方にご利用いただけることを願ってやみません。

これからも議会に関心を持っていただけるよう、議会だよりや議会ホームページ等により情報発信に努めて参ります。



会議録検索システムの  
トップページ

# 審議結果

## 審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対  
 —は採決に加わらなかった議員  
 清水豊司議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案 番号	議員名（議席順） と審議結果	大 石 舞	黒 岩 陣 太 郎	重 田 有 紀	和 田 紀 昭	山 崎 真 弘	岡 田 幸 二	鈴 木 武 夫	鈴 木 磯 美	田 中 正 彦	田 村 俊 二	牧 野 一 仁	清 水 亜 樹	伊 藤 奈 穂 子	審 議 結 果	
																	議 案 名
第4回臨時会	33	大井町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	大井町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	大井町児童コミュニティクラブ条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	大井町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	令和3年度大井町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	工事請負契約の締結について（防災備蓄倉庫建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	工事請負契約の締結について（テレメータ盤更新工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3回定例会	40	大井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	41	大井町農業体験施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	42	大井町山田総合グラウンド条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	43	令和3年度大井町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	44	令和3年度大井町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	45	令和3年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	46	令和3年度大井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	47	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	48	工事請負契約の締結について（道路改良工事（町道501号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	49	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定 1	決算認定について（令和2年度大井町一般会計）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定 2	決算認定について（令和2年度大井町国民健康保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定 3	決算認定について（令和2年度大井町後期高齢者医療特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定 4	決算認定について（令和2年度大井町介護保険特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定 5	利益の処分及び決算認定について（令和2年度大井町水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定 6	利益の処分及び決算認定について（令和2年度大井町公共下水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	

通学路の交通安全対策は  
優先すべきと考えるが

**答** 財政等を考え、子どもの安全が  
守れるよう取組んでいく

清水 亜樹 議員



**問** 子ども達の命を守る、通学路の安全対策は優先すべきと考えるが。

**町長** 財政面や緊急性などを考え、子どもの安全がしっかり守れるよう行っていく。

**問** 国は6月に発生した千葉県八街市の事故



町道18号線 国道東側  
区間通学路風景

を受け、通学路の合同点検を要請したが、点検で抽出した対策必要か所は。

**町長** 町内4か所。

**問** 町道18号の国道東側区間の水路を暗渠化して、安全確保のため歩道整備をすべきと考えるが。

**町長** 道路幅員が広いなどのことから、現時点では歩道整備の計画はない。

**問** 国道西側では、同じ幅員で歩道整備はされている。また都市計画道路の工事の関係で通学路が変更となるため、歩道整備は有効な安全策だが。

**課長** 迂回路というこ

ともあり、今後しっかりと考えていく。

【コロナ対策】

**問** 子どもの感染が増加しているが、学校等における更なる対策・対応は。

**町長** 夏休み明け、学校では短縮日課等を行ない、また幼稚園では登園自粛の呼び掛けや給食提供の中止をしている。文科省のマニュアルに則り感染リスクの高い学習活動を行わないよう再度徹底している。

※暗渠：地下に埋設したり、ふたをかけたたりした水路。

障がい児者の雇用拡大に向けた  
独自施策の考えは

**答** 今度の公園について何ができ、どういう  
仕事が良いのかなど、検討していきたい

田村 俊一 議員



**問** 障がい児者の現状と雇用状況は。

障がい者雇用の考え方や実績を確認していきたい。

**町長** 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳取得者の実数は672名である。

**問** 自治会の現状と今後  
のあり方は

**町長** 自治会加入の現状と課題は。

**町長** 4月1日現在加入世帯数は、5238世帯（総世帯数7126世帯）である。

**問** 指定管理者に対し雇用拡大施策を指定要件に加える考えは。

**町長** 雇用に関しては、地元の方を雇用するかの確認はしている。障がい者の雇用についての条件は付していない。法定雇用の達成状況



加入促進の期待がかかる  
ハンドブック

（世帯）加入率73.5%で低下傾向である。地域活動の機能低下、連帯意識の希薄化などが懸念されている。

**問** 大井町自治基本条例第8条の規定と実態との乖離について。

**町長** 「原則として」と付されているものの、全ての町民が自治会に加入しているわけではなく、第8条と自治会加入の実態には乖離がある状態となっている。町民、議会及び町の三者での協働したまちづくりの基本方針はかわらない。今後も加入に向けた啓発活動を引き続き行っていきたい。

災害発生時の対応と今後は

答 地域防災計画にある配置体制の  
設置基準に基づき対応する

鈴木 磯美 議員



**問** 災害時の被害状況の集約方法は。  
**町長** 町民の電話による情報提供や職員・消防団員のパトロールで対応している。  
**問** 町道等における災害現場の復旧について原則的な町の対応は。  
**町長** 主幹道路や生活に密着する道路から対応する。



記録的大雨の被害現場  
(柳地内)

**問** 災害発生か所が民地や国有地の場合の対応は。  
**町長** 民地について、基本的には土地の所有者が対応するものであり一般的には相対で対応するものと認識している、国有地は財務省が所管。  
**問** 災害復旧に対する補助制度を考えるべきと思うが町長の考えは。  
**町長** 農地被害の復旧費に対しては一定の基準を設けた中で支援は必要。  
**問** 進捗状況は。  
**町長** ごみ質調査や処理方式等を検討し、地域計画の策定に取り組んでいる。  
**問** 建設候補地となっている町内の自治会に對する対応は。  
**町長** 選定結果の報告等が行われず、適切なタイミングで状況説明を行う。  
**問** 大型獣焼却施設を併設する考えは。  
**町長** 併設する予定はないが捕獲後の処理方法は早急に検討する。既存施設の跡地利用は、各市町に温度差があり難しい状況。  
**問** 【あしがら上地区資源循環型処理施設整備について】

答 後期高齢者の人間ドック助成金の考えは  
さらなる取組を検討する

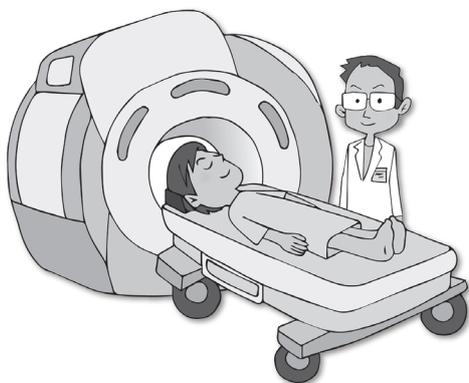
和田 紀昭 議員



**問** 社会保険等で今まで人間ドックの助成を受けていた方が後期高齢保険に切り替わると助成が受けられない。一部を負担する考えは。  
**課長** 金銭的に高価な補助になる。今後様子を見ながら検討すべきかと考える。  
**問** 松田町では2万円を上限に補助している。町民の健康保持、増進のためにも必要だと考えるが町長の考えは。  
**町長** 前向きに検討する余地はあると思う。  
**問** 町では厚生労働省による「がん予防重点健康教育及びがん検診のための指針」に沿っ

てがん検診を行っているが、男性罹患率第1位の前立腺がんにおいては行っていない。実施する考えは。  
**課長** 前立腺がんの死亡率は低く、5年相対生存率は高い状況にある。他町での受診率は低い。導入について検討する必要はあると思う。

うが、他の自治体を参考に検討していきたい。  
**問** 死亡率が低い現状はあるが、抗がん剤治療で苦しい思いをしたり、何回も入院を繰り返している方がいる。5町では3町が既に取組んでおり、大井町でも取組んでいかなければいけない問題と考えるが。  
**課長** 担当課としても検査の方法、また費用負担も含めて、実施する方法を前向きに検討したいと考える。



人間ドックの様子

学童スポーツ団体育成の取組みは  
町施設の使用料減免の他、町内  
施設の利用推進を図っていく

岡田 幸二 議員



**問** 学童のスポーツ活動は、学校教育における学習機会の確保と並び推進していると考えるが、任意のスポーツ団体に、その活動を委ねているのが現状である。町はどう考えているのか。

**答** 学童のスポーツ活動は、学校教育における学習機会の確保と並び推進していると考えるが、任意のスポーツ団体に、その活動を委ねているのが現状である。町はどう考えているのか。

**問** 新たな施設を造るという検討は含まれていないのか。

**答** 新たな施設を造るという検討は含まれていないのか。



中井中央公園野球場  
での野球教室

的な指導は、これまで各団体に育成を担って頂いており感謝している。町としては、総合体育館等町施設の利用料の7割減免を実施することで、間接的な支援をしている。

**問** 第6次総合計画でスポーツ施設の充実を掲げているが、内容は、総合体育館と山田総合グラウンドの維持管理を主とし、計画的に改修を行うことで施設の充実を図っていく。

**答** 新たな施設を整備していく考えはない。

**問** 町内の野球場施設例えばピオトピア等を優先的に利用しやすいよう交渉していただく等の配慮は。

**答** 町を通して、利用が可能かどうか、可能性を模索することはできるので、その様な形で対応したい。

**問** 学童を対象としたスポーツ団体へ助成金を支給する考えは。

**答** スポーツの他文化活動等様々な活動があり、町施設の使用料減免で団体の財政負担軽減を図っていく。

昨年、今年と中止になった

ねんりんピックの来年の開催は

**答** ねんりんピックかながわは

来年神奈川県で開催する

鈴木 武夫 議員



**問** 来年、山田総合グラウンドがねんりんピックかながわのペタンク会場になる。当町のペタンク人口と、ねんりんピックへの当町からの参加は。

**答** 来年、山田総合グラウンドがねんりんピックかながわのペタンク会場になる。当町のペタンク人口と、ねんりんピックへの当町からの参加は。

**問** ペタンク人口は把握していない。町内で大会を行っている自治会がある。「おーい元気会」や老人クラブ連合会で体験会や、大会を実施している。当町からの参加は、チーム枠が空いたら参加の可能性もある。

**答** ペタンク人口は把握していない。町内で大会を行っている自治会がある。「おーい元気会」や老人クラブ連合会で体験会や、大会を実施している。当町からの参加は、チーム枠が空いたら参加の可能性もある。

**問** ナラ枯れとヤマビルについて

**答** ナラ枯れとヤマビルについて



ペタンク競技の様子

県と連携し、注意喚起や駆除方法等の情報提供を行っている。

**問** 町内で「ヤマビル」を確認されている地区はどこか。また「ヤマビル」の被害への予防策と生息数の減少に向けた対策は。

**答** 平成28年度から篠窪地区で確認され柳地区、高尾地区に生息域が広がっている。当町でも吸血被害も増えているので、山北町と松田町との合同による「あしがら地域ヤマビル対策推進協議会」を設置し、取り組むことにした。

有害鳥獣被害対策実施隊に対する  
報酬の拡充は

答 報酬を拡充する考えはない  
黒岩 陣太郎 議員



問 実施隊への報酬や捕獲した方への補助金の拡充は。

答 実施隊は「鳥獣被害防止特措法」において、地方公務員法第3条第3項に規定する特別職の非常勤職員として位置づけ報酬は年額10000円として規定している。実施隊員の活動にあたり補償面



有害鳥獣の捕獲を行う実施隊

におけるサポートも行ってのことから、現時点では報酬の拡充は考えていない。

問 捕獲後の個体処理の現状の課題は。

答 個体の処理は自家消費という形で猟友会の方に処理残渣の埋設を捕獲従事者敷地内においてお願いしているのが現状である。この課題は近隣市町でも共通の課題となっており大井町を含む足柄上地区1市5町では、食肉処理施設整備検討会議を設置し広域の枠の中でジビエ活用含め個体処理手法について検討を進

めていく。

【シティプロモーション事業について】

問 撮影等の誘致やフィルムコミッションを設立する考えは。

答 映画やドラマ、映像作品のロケーションとなった「ゆかりの地」を訪問する観光スタイル「ロケツアーズム」が着目されている。地域の知名度の向上や観光客の増加などに期待が持てることなどから、協力依頼があった際は希望に沿った対応が出来るよう仕組みづくりを行っていく。

社協への人件費補助を  
予算計上する根拠は

答 社協は重要なパートナー、財政的支援は町の責務で必要な措置



重田 有紀 議員

問 社協に期待する役割とは。

答 行政ではできない民間性を持ったサービス、民間の営利企業が実施しない公共性を

持ったサービスの担い手としての役割を期待している。

問 社協へ補助金を支出する根拠は。

答 社会福祉法及び大井町社会福祉法人の助成に関する条例による。

問 本条例は、助成することができると明記しており、助成しないことも可能と解釈できるが。

問 公費投入は、福祉サービス提供の確保において必要な措置である。

問 社協の役割、補助を支出する根拠を、広く町民へ周知すべきでは。

答 歩調を合わせて取り組む。

問 社協の自主事業、移送サービスは、地域公共交通計画内で重要な位置づけをされているか。

答 補助金の性質上、社協からの申請により判断するが、その経費について申し出がある現状にない。

問 今後、更なる連携が必要では。

答 町の福祉行政をお互いに力を出し合っ



社協の買い物支援事業  
わくわくショッピング

るが、事業の公共性を認めているということか。

課長 確かに記載しており、巡回バスの役割を補完する形を持続してもらえると非常にありがたい。

問 公共性を認めるのであれば、移送サービスに補助をしてはどうか。

課長 補助金の性質上、社協からの申請により判断するが、その経費について申し出がある現状にない。

問 今後、更なる連携が必要では。

答 町の福祉行政をお互いに力を出し合っ

町立保育園に0歳児の保育・一時保育を  
民間活用を含め、保育ニーズに  
対応できるよう努める

大石 舞 議員



**問** 現在の施設では0歳児保育・一時保育は厳しいが、施設の問題が解決すれば新たに検討の余地はあるか。

**課長** 老朽化も含め、今後大規模改修等は必要。改修の際に定員数配分の変更等で、0歳児の受け入れ可能かと認識している。



駐車場が急傾斜地の崩壊警戒区域にあたる大井保育園

**問** 災害が頻発している。園児たちは自助できない存在であり、地震等も心配される。場所自体の変更についてはどう考えるか。

**課長** 大規模改修が必要なのか、別に移転することも含めて検討していきたい。

**問** 町長は町立保育園についてどのように考えるか。

**町長** 少子化や幼稚園、民間との関係もある。行政として子どもたちの生活環境をどうするか早急に考えていく。

**【コロナ対策】**

**問** 教職員に対するコロナワクチン接種状況は。

**町長** 園職員は8月中旬に2回終了。小中学校教職員も、9月半ばに2回終了する。

**問** 学校・園で感染者が出た場合のPCR検査は。

**町長** 保護者からも要望があり、町でも抗原検査キットを使ったクラスター防止を検討していた。国と県がキット配布を決定したので、まずはこれを優先する。

**問** 自宅療養者に対して、町の支援を考えると、町の支障を考えると、町がやれる部分に対応していく。

**課長** 県と連携を取り、町がやれる部分に対応していく。

**改めて犬のふん等マナーの啓発を  
答 広報等で周知するが  
町民の協力が不可欠**

伊藤 奈穂子 議員

**問** (仮称) 大井中央公園オープンに当たり改めて犬のふんに関するマナーや躰の啓発、公園に看板などの対応が必要では。

**課長** 改めて広報等で周知していく。公園に注意事項は掲示するが行政だけでは取り締まれない。町民の皆さんの協力が必要である。

**【防災・減災について】**

**問** あんしんメールの登録者数を増やすための取組みは。

**課長** 積極的に周知し違う形でのアプローチを考えていく。



(仮称) 大井中央公園の看板は、どんな形になるのかな

**問** 防災行政無線の出力がアップされた後、戸別受信機の受信状態を調査する考えは。

**課長** 戸別受信機を持つている方、一軒一軒に通知を出し確認する。

**問** マイタイムラインの導入は。

**町長** 次期ハザードマップに記入できる記載欄を設ける。

**問** 災害時の避難情報として大事な情報であるとして、障がい者スペースについても検討する。

**課長** 生涯学習センター駐車場整備について】

**問** 消えかかったライオンを整備すべきでは。また障がい者スペースを設ける考えは。

**町長** 整備の必要性は認識している。今後、庁舎周辺の駐車場を含め財源など総合的に判断し、できるところから整備を進める。障がい者スペースについても検討する。

るハザードマップを自治会に入っていない世帯にも配布できるように全戸配布する考えは。

**課長** 全戸に行き渡らせるにはどうしたらいいか考えていく。

廃棄物の排出抑制策は

**答** 持続可能な資源循環型社会  
を目指す  
牧野 一仁 議員



**問** 低炭素社会の実現に向けた取組みとして、ごみの排出量抑制や分別があるが大井町一般廃棄物処理基本計画ではどのような実施策があるか。

**町長** 令和3年度から17年度まで15年間の計画となっている。町民、行政、事業者の一体的な取組みにより



スーパー店頭での分別回収ボックス

SDGsを踏まえた持続可能な資源循環型社会の構築を目指して3Rの推進、町ではごみ質の調査を行ったが、まだまだ分別が十分とは言えず、町民の環境保全を意識したライフスタイル実現の後押しを行政がする施策などを盛り込んだ。

**問** ごみを大量に出す人も少し出す人も同じ税金で処理をすることが経済的に不公平ではないかという意見がある。行政の役割として家庭系ごみの有料化を検討したことがあるか。

**課長** 県内でも実施している市町村がある。1市5町のごみ処理広域化協議の中で検討している。

**問** 15年先のごみ排出量抑制目標が10%となっているが、人口が10%減となる想定を考慮すると目標値が低いのではないか。

**課長** 人口は区画整理等で増えてきている状況。目標値を人口減とごみの削減を考えると現実的な目標として10%が良いのではと設定した。

地域防災計画の見直しと

自主防災へのサポートは

**答** ハザードマップの改訂と

防災出前講座を実施

田中 正彦 議員



**問** 現行の大井町地域防災計画は5編構成だが地震対策に重点が置かれ、最近の異常気象による河川の氾濫や土砂災害対策が弱い。自主防災が行動指針として参考にできる内容への見直しの考えは。

**町長** 現行の地震想定の大規模地震対策特別措置法で本町が東海地震の防災強化地域に指定。これに基づいて平成30年に改定、風水害に伴う避難要配慮者対応や避難強化情報発信の目安策等強化を図っている。現行のハザードマ

ップは認知度が低いと思われる。利用者目線に立ったマップへの改訂の考えは。

**町長** 県の土砂災害特別警戒区域指定や川音川の想定最大規模浸水区域指定に伴い今年度中に改訂し全戸配布する。

**問** 現行の地震想定の大規模地震対策特別措置法で本町が東海地震の防災強化地域に指定。これに基づいて平成30年に改定、風水害に伴う避難要配慮者対応や避難強化情報発信の目安策等強化を図っている。現行のハザードマ

**問** 現行の大井町地域防災計画は5編構成だが地震対策に重点が置かれ、最近の異常気象による河川の氾濫や土砂災害対策が弱い。自主防災が行動指針として参考にできる内容への見直しの考えは。



普段は静かな清流だが、集中豪雨で“あばれ川”と化す酒匂川

えは。

**町長** 水害による避難行動は避難の手法等各戸で一様でなく必ずしも集団訓練に馴染まない。従い、訓練よりはむしろ組内や隣同士の絆強化を仕掛けて行く。

**問** 自主防災へのサポートとして防災マニュアル作成指導の実績は。

**町長** 町は自主防災からの規約作り等の相談を随時受け、参考マニュアルの提供や訓練メニュー提案を行っている。

**問** 町民への防災教育の普及策は。

**町長** 防災出前講座や防災リーダー研修等を実施している。

# ● 町のこの人あの人 ●

## ものづくりを通して まちづくりを



市場 地区  
はらだ まさし  
原田 征史 さん

町内でステンドグラス工房を開いている、原田征史さんを紹介いたします。

●御殿場市出身。神奈川県立高校で、38年間工業を教えました。小田原城北工業高校に勤務の縁で大井町に住み、約50年です。

●40代の頃、偶然立ち寄った新大久保駅でステンドグラス工房の看板が目にとまり、その足で工房へ。勤務後に

半年ほど通いました。そこから日本各地の工房を見学し、独学で学ぶ日々。絵付けの第一人者にも学び、東京赤坂まで10年ほど通い、技術を身に付けました。

●ステンドグラスの魅力は、自然光との関係で美しい色を出すことで、様々な作品を手掛けます。工房を開いて20年、県内各地から通う方や、近隣に旅行の際に家族で体験に訪れる方もいて人気です。

●20代から小田原山岳会に所属し、高校では登山部を指導。神奈川県登山ガイドの西丹沢・箱根地域の改定執筆を、現在も続けています。今年79歳。今でも月に1、2回は登ります。

●「大井・山田のかかし祭」に携わり今年で6年目、実行委員会代表を務めます。原田さんは、「大井町の自然に触れながら子どもたちの想像力を育て、ものづくりの楽しさを体験して頂きたい。何事にも一生懸命に取り組み姿勢を育みたいですね。」と話されました。



作品の完成まで3、4カ月かかることも

### 【議会傍聴についてのお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、傍聴席は間隔を空けて使用するため、傍聴人数に限りがあります。また、次の注意事項にご協力ください。

- ・体調がすぐれない方、37.5度以上の熱がある方は、傍聴を控えてください。
- ・受付時には手指の消毒をし、マスクの着用にご協力ください。

### 第4回定例会開催

12月2日(木) 午前9時

問合せ先：議会事務局

☎ 85 - 5000 FAX 83 - 3936

### 編集後記

今定例会では、令和2年度の決算が認定されました。新人議員にとっては初めての決算でしたので、先輩議員に逐一教わりながら、緊張感をもって審査を行いました。

さて、11月には町内のワクチン接種がひと段落するようです。まだ以前のような暮らしは遠いですが、町民の方が少しでも前を向けるよう、議会としても情報発信して参ります。新たにIPに掲載される会議録検索システムも、ぜひご活用ください。

大石 舞

広報広聴常任委員会					(広報分科会)		
委員長	伊藤奈穂子	副委員長	清水 亜樹	委員	鈴木 磯美	委員	山崎 真弘
委員	和田 紀昭	委員	黒岩陣太郎	委員	大石 舞	委員	